

# 感染状況・医療提供体制の分析(10月13日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (10月6日時点)	現在の数値 (10月13日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	69人 (3.6人)	42人 (2.2人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり2.2人</u>と減少も、60歳以上の割合(40%)や接触歴不明者の割合(36%)は増加。 まん延防止等重点措置の解除後、夜間滞留人口の増加が続いており、新規感染者数の今後の動向には注意が必要。ワクチン接種推進、接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持する必要がある。<u>感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	24人 (35%)	17人 (40%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	32人	28人	→	
		県南西部	31人	12人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	18人	15人	
割合 (③/①)			26%	36%	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	28人 (5%)	27人 (5%)	→	総括コメント	
	⑤宿泊療養者数	25人	22人	→	<p>レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる</p> <p>宿泊・自宅療養者数ともに減少し、通常の医療が提供できている。</p>	
	⑥自宅療養者数	26人	17人	→		
	⑦重症者数	1人	2人	→		